

2021 年度  
東京都立大学大学院 都市環境科学研究科  
都市政策科学域 選抜試験（冬季）  
博士後期課程（4月入学）

科目 < 専門科目 >  
時間 10 : 00 ~ 11 : 30

- 注意事項： ①解答は、配布された答案用紙に行うこと。不足した場合は、手を挙げて申し出てください。  
②答案用紙の「学修番号」欄に「受験番号」を、「氏名」欄に「氏名」を、「題目」欄に「設問番号」を記入してください。  
③その他、監督者の指示に従うこと。

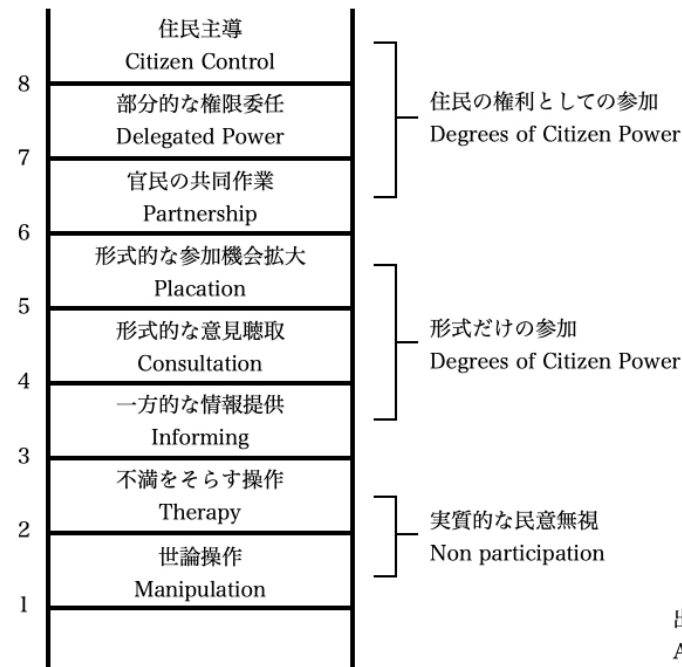
受験番号	氏名
------	----

### 設問 1

図は、住民参加についての古典的な理論として知られる、シェリー・アーンスタインの「A Ladder of Citizen Participation（住民参加の梯子）」であり、住民参加の形式や方法を8つに類型化し、梯子の上段に行くほど望ましいとするモデルである。

これは1969年に米国で発表されたモデルで、大きな影響を与えたが、あくまでも当時のアメリカの社会状況の中でつくられたものであり、他の国や地域にあてはめる際に、社会状況の違い、特に政府と住民の関係、住民と住民の関係等の違いに留意してあてはめていく必要がある。

そこで、現在の具体的な都市を念頭において、その都市における政府と住民の関係、住民と住民の関係等の違いを整理した上で、このモデルに基づいてその都市の現在の住民参加の政策を評価し、そのあるべき姿を論じなさい。そして、このモデルの限界を論じなさい。1000字程度で解答すること。



住民参加の梯子 (A Ladder of Citizen Participation)

出典：Sherry. R.  
Arnstein (1969) A  
Ladder of Citizen  
Participation